



森のにおい、木のにおい、葉のにおいを十分味わってくれたでしょう。

森を保護することの重大さと同時に、その木は誰のものだったのか、自然に大きくなったのではない、地元の人たちも使ってもいいのではないか。こういうことも考えてみる必要があると思います。

(木曾青峰高校の元先生、山口登さん)



熱心にメモをとる姿がとても印象的でした。

(2年 上野由希子さん)



楽しく学べるように工夫したかいがありました。

(2年 西村かなさん)



子供たちに自然の良さを知ってもらえて、とてもうれしいです。



子どもたちに教えるのが初めてだったので、良い経験になりました。

(2年 木村有子さん)



感	み	先	木
想	な	生	曾
を	さ	と	青
聞	ん	生	峰
き	に	徒	高
ま	の	校	
し		の	
た			

普段できないことを学び、体験するいい機会になりました。

(2年 奈良尾充洋さん)



おやつに木曾の名物「ほお葉巻き」を食べたーの

木の中はしめってる。生きてるんだ



今回の企画で木曾の自然の良さに気付く事ができました。

(2年 高木勝大さん)



インテリア科の先生と生徒さんが、ヒノキの間伐材を使って名札を作って用意しておいてくれたよ。こども記者の名前となーのちゃんがレーザーで刻まれていてかっこいい！ いい香りもするよ。

自分たちが普段行っている作業を知ってもらえて良かったし、これを機に、少しでも林業に興味を持ってもらえればうれしいなと思っています。

(3年 中條昭さん)

楽しそうに学べていたので良かった。これからは森の大切さを知ってもらいたい。

(2年 林由布子さん)

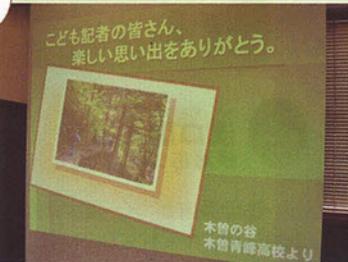
小学生に教えると同時に自分たちの勉強になりました。

(3年 園原空良さん)



思っている以上に知識があつてビックリしました。

(2年 楯なつさん)



こども記者の皆さん、楽しい思い出をありがとう。

記者のみなさんが熱心に説明を聞いてくれたので良かったです。自分たちも良い勉強になりました。

(2年 古田啓悟さん)

みんなのイラストや五七五(俳句が川柳)を送ってね!
 ~信毎こども記者クラブ宛に送ってください。「こども新聞」で紹介します~

◎俳句と川柳って、なにがちがうの?
 俳句 = 17文字の中に季語(季節を表す決められた言葉)がある
 川柳 = 季語がないもの

ほら、五七五はおすかしくないでしょ!
 夏の季節だよ
 たとえば... これも俳句! **田植えして どんこ遊び はじめるよ**

みんな最初は一年生 **ベテラン記者の失敗談**

22本目 (記者31年目) **写真部 部長 毛利英俊**

まさかの人違い!?

高校野球県大会の取材で20年以上前、めずらしい間違いをしました。当時はフィルムのカメラで撮影し、タ刊用の写真は、球場内でフィルムを現像して、専用の機器で現地から送信していました。その日の第一試合、結果はサヨナラゲームホームインして大喜びする「三塁ランナー」の写真がタ刊に載りました。

しかし、それはランナーではなく、興奮して続けてホームに走りこんでいた三塁コーチ(別の選手)だったのです。タ刊を見た読者から指摘があり、まだ球場でほかの試合を取材している時にデスクから連絡が来ました。

現像したフィルム(ネガフィルム)をあらためて見ると、ホーム向かう三塁ランナーが写ったコマの少し後に、万歳して跳びはねる三塁コーチの姿が写っていました。送ったのはその写真でした。よく見れば、顔が違うなりに気づいたはずですが、最終的な確認をおこたり、一番いいアクションの場面を選んでしまったのです。

写真を選ぶ時は、人物や場所が間違っていないか、写真と写真説明が合っているか、細心の注意が必要だということを痛切に学びました。

信毎の新聞語 第14版

【続報】 ぞく・ほう

最初にニュースを伝えた「一報」の後、その話題について続けて報道すること。記者は、重要なニュースを一度記事にして終わるのでなく、その後の動きなどを粘り強く追っていくことも大切。